既存試料・情報を用いる研究についての情報公開

本学では、医学系研究に協力して下さる方々（以下研究対象者）の利益と安全を守り、安心して研究に参加していただくように心がけております。こちらに記載されている研究については、研究・診療等により収集・保存された既存試料・情報を用いる研究で、直接研究対象者からインフォームド・コンセントを取得することが困難であるため、情報公開をさせていただいております。

こちらの文書は研究対象者の皆様に、情報公開をするとともに、可能な限り研究参加を拒否または同意撤回の機会を保障する為のものになります。

なお、研究参加を拒否または同意撤回されても一切の不利益はないことを明記させていただきます。

受付番号	（倫理）第　3578　号

研究課題

免疫チェックポイント阻害薬時代における高リスク腎細胞癌に対する周術期治療に関する
後ろ向き観察研究

本研究の実施体制

研究代表者（研究代表機関）

大澤　崇宏（新潟大学泌尿器科）

当院の研究代表者

神波大己（熊本大学大学院生命科学研究部泌尿器科学講座・教授）

当院の研究分担者

穴見俊樹（熊本大学大学院生命科学研究部泌尿器科学講・助教）

本研究の目的及び意義

この研究により、腎細胞癌（特に再発リスクの高い症例）に対する手術前後の治療の実際の状況や治療成績が明らかになり、将来のより良い治療法の確立につながることが期待されます。

研究の方法

各施設で診療録から必要な情報を収集し、匿名化したうえで研究代表機関（新潟大学）に集約して解析します。

研究期間

倫理審査委員会承認日から 2028 年 3 月 31 日まで

試料・情報の取得期間

倫理審査委員会承認日から 2028 年 3 月 31 日まで

研究に利用する試料・情報

病歴（性別、年齢、身長、体重、使用薬剤）、血液・尿検査結果、画像検査結果、病理結果、手術記録、治療内容、治療効果などを使用します。本研究のため新たに検体、試料を採取することはありません。

個人情報の取扱い

本研究では、診療録から収集した情報を使用しますが、氏名や診療番号など、個人を直接特定できる情報は削除し、研究用の番号に置き換えて管理します。研究用の番号と個人情報を対応させる一覧は、パスワードを設定したうえで厳重に保管し、外部に漏れることがないよう十分に配慮します。

研究成果を学会や論文などで公表する場合にも、個人が特定されることはありません。また、収集した情報は本研究の目的以外には使用しません。

研究成果に関する情報の開示・報告・閲覧の方法

この研究で得られた結果については、すぐに診療に役立つことが難しいため、結果をお返ししない予定です。御要望があれば開示可能な範囲で、この研究の計画や方法についてご覧いただくことができます。

研究成果につきましては、学会や学術雑誌へ開示することがありますが、その際には解析したデータのみを公開いたしますので、患者さんの個人情報が流出することはありません。

利益相反について

本研究は、研究代表機関である新潟大学および参加各施設における講座研究費・運営費を用いて実施します。本研究の実施にあたり、特定の企業からの資金提供は受けておりません。新潟大学で利益相反マネジメント専門委員会へ利益相反自己申告書は提出済みです。

本研究参加へのお断りの申し出について

本研究への参加を希望されない研究対象者様は下記の問い合わせまでご連絡ください。参加を拒否したとしても研究対象者様の不利益となることはありません。

本研究に関する問い合わせ

熊本大学大学院生命科学研究部泌尿器科学講座 助教 穴見俊樹 096-373-5241